

第4回 国有林モニターアンケート

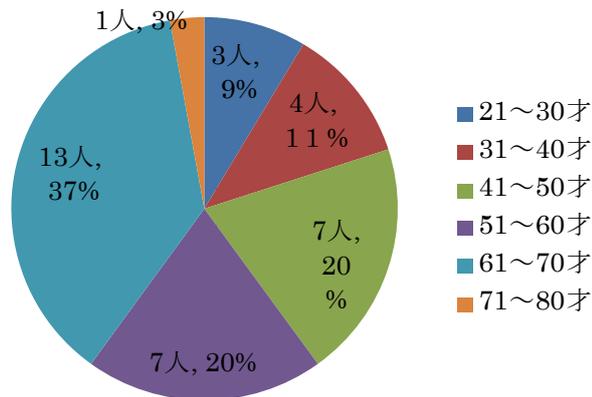
結果概要

国有林モニター制度は、より多くの国民の皆様身近な存在として国有林を感じていただけるよう、広く一般の方からモニターを募り、国有林野事業についての理解を深めていただくと同時に、国有林野事業についての幅広いご意見等をいただき、これらのご意見を管理経営に役立てることで、「国民の森林」にふさわしい管理経営を行うことを目的としています。

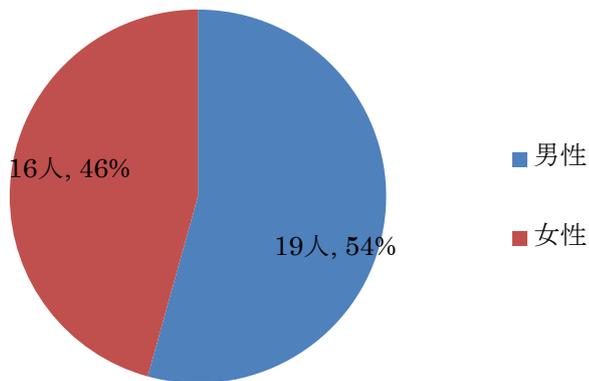
今回、第4回国有林モニターアンケートを実施し、モニター35名全員の方からご回答をいただきましたので、その結果について報告します。

平成27年12月

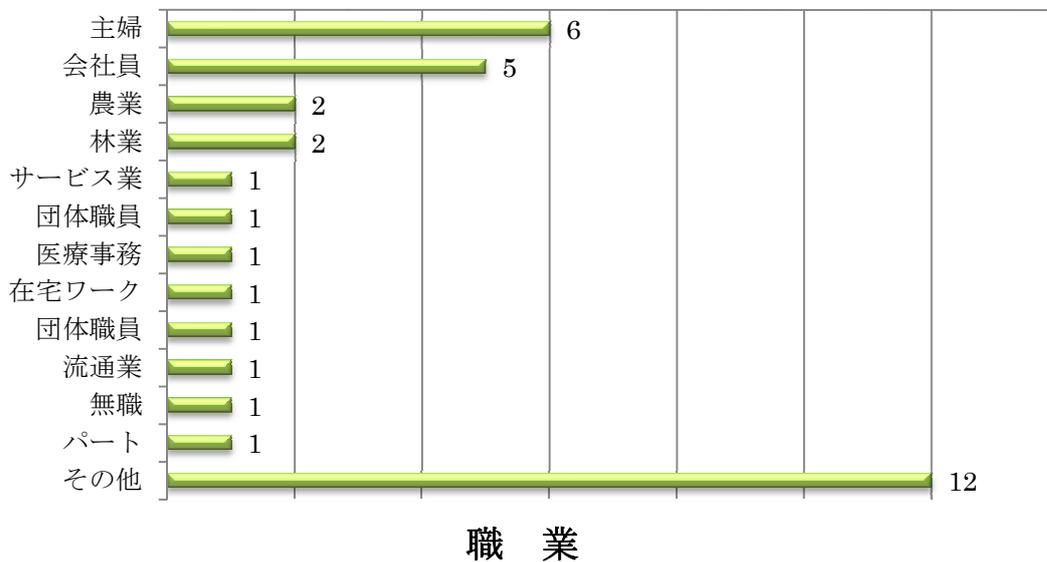
国有林モニターアンケート回答者基本情報



年齢割合



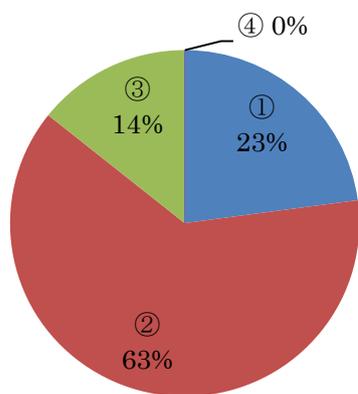
男女割合



職業

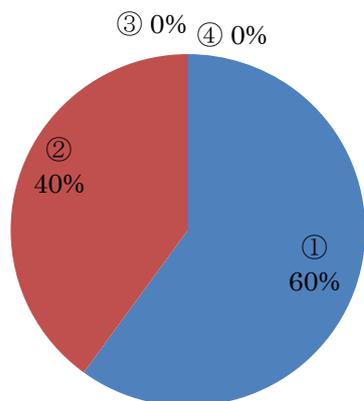
森林とのふれあいの場の提供に関する取組について

問1 中部森林管理局では、自然休養林等のレクリエーションの森について、地元協議会等との連携・協力の下、施設整備等に取り組むとともに、これらを広く国民の方々に森林とふれあう場として提供し、森林の保健・文化・教育的利用の推進に取り組んでいることについてお聞きします。次の中から選んで下さい。



① 国有林モニターになる以前から知っていた	8人
② 国有林モニターになってから知った	22人
③ 今回のアンケートではじめて知った	5人
④ わからない	0人

問2 問1のような取組みについてお聞きします。次の中から選ぶとともにご意見等あればお書き下さい。



① 評価できる	21人
② ある程度評価できる	14人
③ 評価できない	0人
④ わからない	0人

その他意見等（一部抜粋）

- ・ 今回モニターになっていろいろなイベントや取組みがあることを知りました。周知の重要性を改めて感じました。
- ・ 街場に住んでいる者にとって日頃の管理局の活動を知ることができないが、レクリエーションの森等で体験することで森林の大切さ、利用推進等前向きに取り組める。
- ・ この取組みによる効果、取組みの最終目標（具体数字）はあるのでしょうか。「小中学生100万人が訪れる」とか、その結果若い国民に周知することができるとか。
- ・ モニターになり知りましたが、国民にもっと知らせてほしい。税金でやっているとしたらもっと知らせるべき。また、情報等も知らせてほしい。
- ・ レクリエーションの森の設定は、その殆どが昔から名の知れた観光地等の、日常生活圏からは離れた場所にある。子供たちの利用や朝晩の散歩の途中に寄れるような誰にでも利用しやすい、近くの国有林でも良いと思う。

問3 中部森林管理局では、「レクリエーションの森」を利用する皆さんの安全で快適な利用を支援するため、ホームページにおいて、施設案内やアクセス等の地図情報、見どころ等を紹介しています。このような施設を訪れるときにはどのような情報がほしいですか。ご要望等ありましたらお聞かせください。

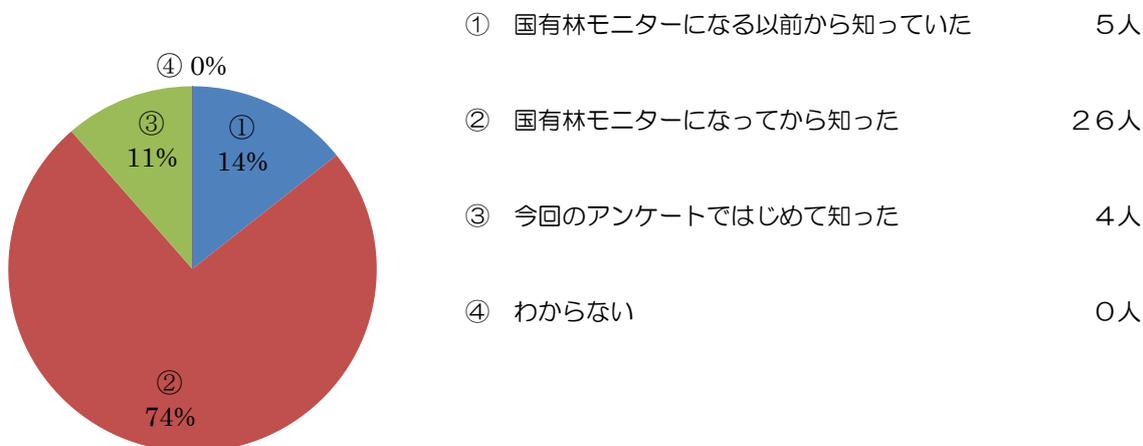
要望等（一部抜粋）

- 小さい子供がいるので、休息所やトイレ（おむつ替え）などママに優しい情報がほしいです。
- 想定外の事態対処のため医療機関が近くにあるかどうか。
- 近隣の町の観光情報、アクセスする為の地図
- ホームページのフロントに「レクリエーションの森」タブを置くと良いと思う。
「レクリエーションの森」に辿り着くのが判りづらい。
- 持ち物、服装、天候、周辺地域の店（食事、土産 etc.）
- 予算があれば地元新聞（信毎等）に広告
- 森を歩き親しむには散策マップなどの情報が不可欠。外部リンクでOK。
- トイレの有無、対象年齢、駐車場情報を載せて欲しい。

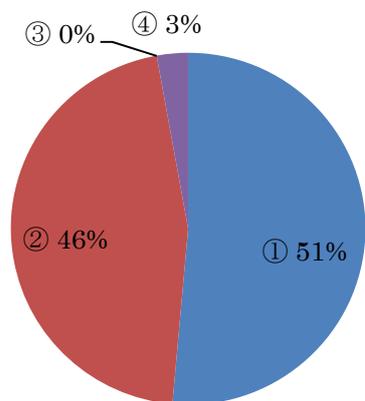
森林づくり活動等のためのフィールド提供の取組について

問4 中部森林管理局では、国民参加の森林づくりの推進や社会貢献活動等に対する国民の方々の需要にこたえるために、それぞれの活動の目的に応じて「ふれあいの森」「遊々の森」「社会貢献の森」「多様な活動の森」を設定し、活動するためのフィールドの提供や支援等を行っています。

また、森林とのふれあいや森林づくり活動等の機会を提供するため、地元関係者と連携したイベント等の実施に取り組んでいますが、この取組みについてお聞きします。次の中からお選び下さい。



問5 問4のような取組みについてお聞きします。次の中から選ぶとともにご意見等あればお書き下さい。



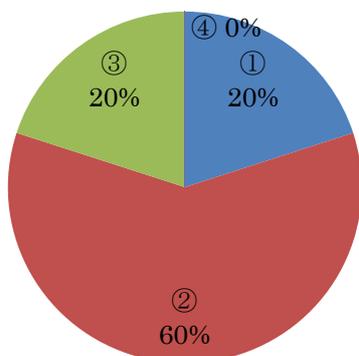
① 評価できる	18人
② ある程度評価できる	16人
③ 評価できない	0人
④ わからない	1人

その他意見等（一部抜粋）

- ・ イベント等内容がマンネリにならない様、地元関係者（小中学生）の意見も聞いて実施してほしい。
- ・ もっとPR強化して、森林とのふれあい体験をより多くの人達にさせていただくことが大事（広範囲に働きかけることも重要）。
- ・ 大々的に取組んでほしい。環境省や県、市町村等と一緒に取組んでどうか。
- ・ 各種の森の設定の目的は分かるのですが、各県の設定された森の数にバラつきがあります。これは各県からの申し込みの多少によってバラついたもののでしょうか。
- ・ 自然に親しむ事は素晴らしい。特にこれからを担う子供達にフィールドの提供は相応しい。

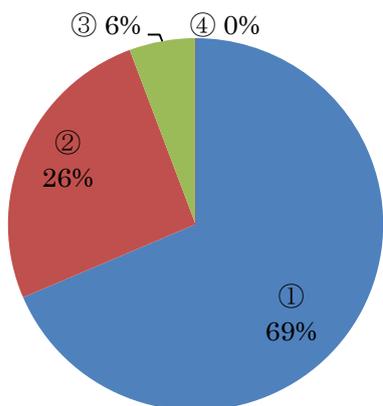
森林環境教育を推進する取組について

問6 中部森林管理局では、教育機関、NPO 等と連携し、森林環境教育の推進に取り組んでいます。小・中学校の児童生徒や教職員を対象とした森林教室、体験林業等の取組等をはじめ、農山漁村における体験活動と連携し、森林・林業に関する体験学習のためのフィールドの整備及びプログラムの開発などに取り組んでいます。この取組みについてお聞きします。次の中からお選び下さい。



① 国有林モニターになる以前から知っていた	7
② 国有林モニターになってから知った	21人
③ 今回のアンケートではじめて知った	7人
④ わからない	0人

問7 問6のような取組についてお聞きします。次の中から選ぶとともにご意見等あればお書きください。



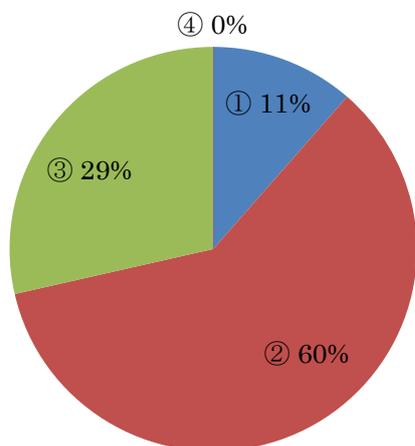
① 評価できる	24人
② ある程度評価できる	9人
③ 評価できない	2人
④ わからない	0人

その他意見等（一部抜粋）

- とてもいい取り組みだと思いますが、もっと気軽に参加できる取り組みを多くしてほしいです。
- 立派な取組だが広報、PR不足で余り知られていませんので、地元ケーブルテレビ、地元紙を活用して大いに宣伝してほしい。
- 森林環境教育を実践している団体以外にも、現場を他団体等に広く公開しているかと思いますが、「実行しました」「結果報告」で終わらない取組みが大事である。
- 幼い頃に自然に親しむ機会は重要だと思うので、これからもぜひ積極的に行ってほしい。
- 中部局の森林教室や体験教室は遠足のような通常の学校行事に参加することはあるのか。
- この内容は総合的な学習の時間に取り扱うのにぴったりです。小中学校に直接、こうした森林教室をやってみませんかといったアピールをするとより森林環境教育の輪が広まると思う。

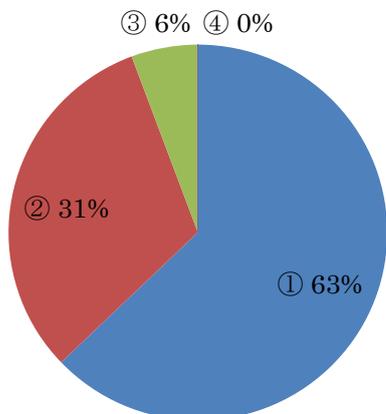
地域の伝統文化の継承を支援する取組について

問8 中部森林管理局では、地域の伝統行事や文化の継承等のための活動に対し、資材の確保や技術支援を行うとともに、市町村等への情報提供などPR活動に取り組んでいますがこの取組についてお聞きします。



① 国有林モニターになる以前から知っていた	4人
② 国有林モニターになってから知った	21人
③ 今回のアンケートではじめて知った	10人
④ わからない	0人

問9 問8のような取組についてお聞きします。次の中から選ぶとともにご意見等あればお書きください。



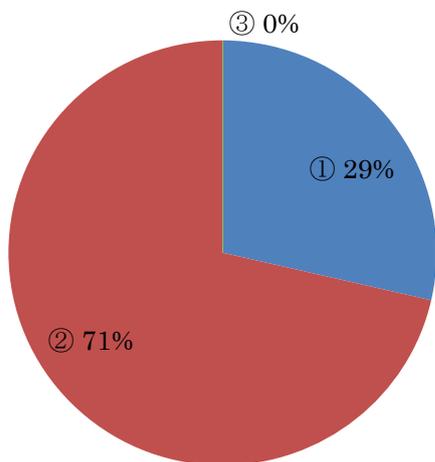
① 評価できる	22人
② ある程度評価できる	11人
③ 評価できない	2人
④ わからない	0人

その他意見等（一部抜粋）

- ・ 諏訪の御柱祭での色々な協力を知りこれからもこのような活動協力を期待する。
- ・ 伝統文化の取組みに、一般国民も参加しやすい環境整備が必要ではないでしょうか。限定された枠内では伝統継承の危機感を伴っているのではと思いますが。
- ・ 諏訪大社の御柱や善光寺三門の修理用材の提供、檜皮の森の設定等、報道でも表に出ない取組ですが、伝統行事や文化の継承に無くてはならない重要な取組みであることを、一般の人にもっとPRしても良いと思います。
- ・ 地域の祭りなどとタイアップした取組みであり有意義であると思う。
- ・ 森林のみでなく、それを取り巻く地域の伝統文化行事の伝承という視点を変えた取組みを今後さらに行うべきだ。別の立場から森林について考える事が必要だと思う。

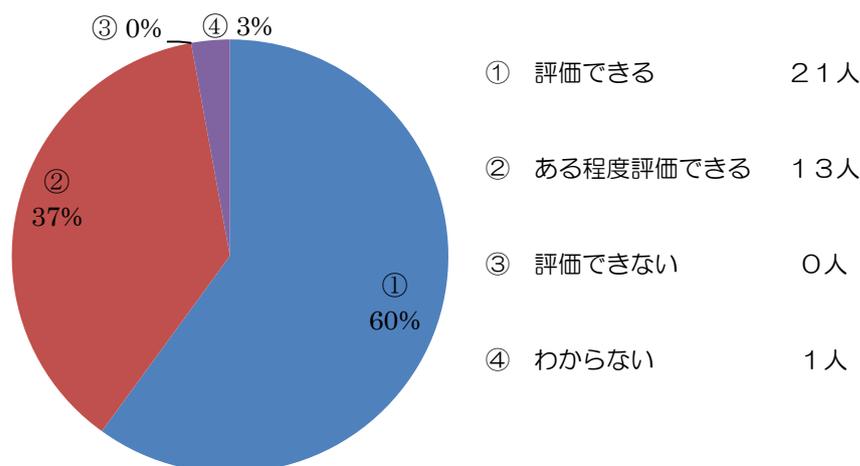
災害からの復興を支援する取組について

問10 中部森林管理局では、御嶽山の噴火をはじめ昨年管内で発生した災害からの復興を支援するため、貸付料の減免や国有林に対する要望への対応、名古屋市民を対象とした森林見学会や木曾地域支援イベント等の開催に取り組んでいますが、この取組みについてお聞きします。



① 知っていた	10人
② 今回のアンケートではじめて知った	25人
③ わからない	0人

問11 問10のような取組についてお聞きします。次の中から選ぶとともにご意見等あればお書きください。



その他意見等（一部抜粋）

- ・ 噴火があったら取組むという後手の対策が気になります。災害については、いつ、どこで起こるか分からないもの、定期的に各地で行う必要があると考える。
- ・ 貸付料の減免等知りませんでしたがとてもいい取り組みだと思う。
- ・ 名古屋市民の参加数や目標数を公開しているのか。事業費等で限界が有るかと思いますが、「100万人参加」とか目標を示した方が良いのでは？
- ・ 今年のモニターの現地見学会で、濁川治山工事個所の濁沢・伝上川の復旧状況は素晴らしいものでした。森林管理局の復旧事業の推進・努力に敬意を表するとともに、できれば林道を解放され、もっと多くの人にこの様子を見てもらえればと思う。
- ・ 災害からの復興支援のための見学会や支援イベント等の開催を名古屋だけでなく、他の自治体も同様なことが少しでも多く開催出来たらと思う。
- ・ 災害地の支援や風評被害から救うためにもイベントなどの企画をもっとしていくべきだと思った。

その他意見・要望

問17 その他、「国有林」や「国有林野の管理経営」などについての意見・要望。

（一部抜粋）

- ・ 毎回送られてくる資料は管理局の政策や取組みが分かり勉強になるが、ただそのことはモニターになって初めて知るもので、PR不足というのが一つの要因である。イベントに参加したくとも場所が遠くであるため参加できないことがあり、各地域がもっと知恵を絞って山や森に関心をもってもらえるイベントや講習を行ったら、国民、地域住民の意識はまた変わると思う。
- ・ 一般の人々に多くの取組みを知っていただくにはなんといっても広報である。最近インターネットが多く使われており、大いに活用し身近に感じられるようにしてほしいです。
- ・ 木曽の御嶽山噴火は遠い所での出来事に感じたが、現地に行って復興の様子を見ると自然災害の怖さを改めて感じた。少しずつでもその場所を訪れて、周辺の人に伝え

る事で元のように観光客が増え活気が出てくればと感じる。

- モニターをやりたいと思ったのは、こんなアンケートに答えるためではありません。赤字の林業を如何改善する努力をされているか。どんな工夫がされているか知りたかった為です。国有林は税金で補っていただけますが、民有林はわずかな補助しかありません。結果的には業者への補助金で所有者にはお金は入らなくむしろマイナスもあります。日本全体の深刻な林業の状況に真剣に取り組み、国有林だけの問題としてでなく森を育てる意欲をどうすれば出せる状態になるのか給料を貰っている人達の責任です。アンケートは成果を上げてから取るべきであり、その都度のアンケートはお互い無駄な労力を掛けています。私の知っている方は、日本あちこち転勤族です。これでは立派な山は育ちません。育て結果を見る姿勢が大事と思います。
- 森林は100年単位で循環しており、現在の森林に関わる国民参加の取り組みを継続することによって地域文化となりえると思います。地域での木材活用の新たな産業も伝統産業になりえるものについて国として支援して欲しいと思います。(過去にとらわれない新しい文化創造、産業創造支援)
- 松食い虫の被害が進んでいますが対応と処理が間に合って無く現状の状況では全ての松が枯れてしまうのでは無いでしょうか。既に枯れてしまった松は薬剤処理に頼らず全て伐採して処分してしまう様にした方が良いのでは？
- いろいろと森林に関し外に発進しているようですが、いまひとつ認知されていないのではないのでしょうか。子供たちに森林の魅力、木の魅力、自然の魅力を伝えて、長野に暮らし、森林とかかわる様なことをしたいと思えるようなそんな長野になって欲しいと思います。もっとPRが大切だと思います。
- 中部局内の施設は、健康、休養、スポーツとして大変素晴らしい運営管理を行っており大いに評価出来る。今後も小さなイベントでハイキングやウオーキングを兼ねた健康スポーツにつながる森林利用を望みます。
- 国有林のいろいろな事業を行う予算は税金ですからしっかり使い道を考えて使ってほしい。
- 原村のしらかば会入っていて県からのお手伝いや森林の手伝いなどを「エネオス」と協力して行っている。もっと多くの人を知ってほしいし又参加してほしい。
- いただいた資料の範囲で良さが理解できる。これを、テレビニュースとか雑誌などでもっと広げてくれるとありがたいですね。
- 現在、農林水産省、林野庁、中部森林管理局などの広報や各種情報の発信は殆どがホームページで紹介されている。今回の1～5の取組についても林業に関係のない一般の人達には、HPを見て・知る機会は少ないと思われ、広く国民に情報を提供し利用してもらうために、HP以外での情報の提供はどのようにされているのか。
- 今回のアンケートの取組の外「公益重視の管理経営の一層の推進」、「森林・林業再生への貢献」の三つを柱に管理経営を行われ、それぞれに多種多様な取り組みを行われていますが、その活動の経過・結果を一般の人達にはどのように周知されているのか。
- 10月11・12日の2日間、全国育樹祭の記念行事「森林・林業・環境機械展示実演会」が(高山市)位山で開催され12日に見に行き大変有意義でした。こういう情報

が事前にわかれば良いのですが。

- 国有林が国民共通の財産であるという意識が一般的にはいまひとつ伝わっていない（認識されていない）という気がする。保護・管理の重要性は理解できるが、実際の生活の中で、特に地域の発展等につながっていないと思われることも多い。国有林だけでなく、民有林も含め、行政の立場からもう少し柔軟に多面的に活用してほしいと思う。
- 森林が資産価値が無くなった今、民有林の衰退がますます進んでおり国有林が現況で良いのか。時々悪い風評を聞きます。
- 国土の80%以上が森林で占められている日本で古代から恩恵を受けてきたが、経済成長優先の現代、我々は未来のために緑の大切さや森林を含めた自然の大切さをもっと学び、それを若い世代に引継ぐ必要性を感じた。
- モニターになって中部森林管理局の仕事について知ることができました。災害支援や国有林を守る活動など、普段全く見えてこないのが残念です。市街地に住む住民を少しでも山に興味を向けさせ足を運ばせるイベントなどの企画や、山村の伝統文化がなくならないよう、地元の良さを誇れるような文化継承に手助けできるような活動を期待します。
- 国有林や森林に関わる文化、仕事等に関心を持ってもらう為、PR を地域の祭りやショッピングモール等で、特設ブースを設け特に都市部で行い、だれもが気軽に参加出来る事が必要だと思う。
- 日々の生活の中で森林に目を向けることはあまりなく、一般の市民に注目してもらうことは難しいと思う。自分の山で、活動してみたい気もしますが山を買えるのか分からない。別荘ではないですが、市民が所有して、管理の仕方を学んでいけるような仕組みはできないものでしょうか。
- 森林の成長は100年単位で考えなければならないのですぐ結果が得られない。戦後70年、丁度今森林資源の活用が出来る時期ではあるが、木材価格の下落でうまく活用されていない。CLT等新しい耐火部材を利用した公共施設への活用や、空家を国、県、市が協力し古民家の修復に木材を使い買い上げしてコミュニティに利用したら木材が見直しされ木材価格上昇に継るかもしれない。
- 国民参加の森林はまだまだ少ない。山の整備は季節が限られ、時間もお金もかかるので、なかなか手が出しにくい活動だとは思いますが、もっと多くの人に参加してもらわなくては進みません。お役所同士、教育委員会や学校関係機関と情報を共有し、大企業の福利厚生課と協力するなど、様々な広報手段を使って活動をPRし、森林を守る活動の輪を広げて欲しいと思う。

まとめ

今回のアンケートでは、中部森林管理局の取組のうち、「山村地域の振興と森林総合利用」の取組みに位置づけられている、「森林とのふれあいの場の提供」、「森林づくり活動等のためのフィールド提供」、「森林環境教育の推進」、「地域の伝統文化の継承支援」、「災害からの地域の復興支援」等について幅広いご意見をいただきました。

森林とのふれあいの場の提供については、モニターになってから知られた方が多く、今回のアンケートで知った方もいらっしゃいました。取組についてほとんどの方に評価していただきましたが、レクリエーションの森の利用についてPRが必要であること等の意見をいただきました。また、施設利用に関しての要望等については、トイレ、駐車場、アクセス方法、天候・観光情報をホームページ等に載せてほしいとの要望がありました。

森林づくり活動等のためのフィールド提供については、モニターになってから知られた方が多く今回のアンケートで知った方もいらっしゃいました。取組については、ほとんどの方に評価いただきましたが、多くの方からもっとPRが必要との意見をいただきました。

森林環境教育の推進の取組については、モニターになってから知られた方が多く今回のアンケートで知った方もいらっしゃいました。取組についてはほとんどの方に評価いただきましたが、多くの方から「幼い頃に自然に親しむ機会は重要」、「小中学の総合学習へのアピールが必要」等の意見をいただきました。

地域の伝統文化の継承支援については、モニターになってから知られた方が多く、今回のアンケートで知った方もいらっしゃいました。取組についてはほとんどの方に評価いただきましたが、「伝統行事や文化の継承のため取組は重要である」、「一般へのPRが必要」等との意見をいただきました。

災害からの地域の復興支援については、今回のアンケートで知った方が多く、取組については評価いただきました。本年度モニター会議（現地見学）で、御嶽山噴火に伴う土石流対策状況を見ていただいていることから、本取組についてはご理解いただけたものと思いますが、名古屋市民以外も対象とすべきとの意見もいただきました。

さらに、モニターの皆様方からは、幅広く様々なご意見・要望等や、今後の施策への提案等いただくことができました。中でも多かったのが、PR不足とのご意見です。

引き続き、林野庁中部森林管理局の取組等に理解を深めていただけるような広報活動に努めるとともに、皆様からいただいた貴重なご意見を踏まえ、業務の改善を進めてまいります。